授業評価学生委員会について

農業環境工学科には、学生が主体となって授業改善活動に取り組むことをめざした授業評価学生委員会があります。授業評価学生委員会は、2002年度の発足以来毎年、各学年２名の委員で構成される定例委員会を開催しています。私たちの委員会で培ってきた評価方式が大学の事業評価に参考にされるなど、高く評価されています。

趣旨は、学生からの意見を授業、学科カリキュラムに反映して、学科教育の改善に役立て、質の高い教育を実現することを目指しています。

学科の教育改善委員会が１年生から４年生の各学年から２名を選定し、学科として学生授業評価委員に任命します。任期は４月から３月末日までの１年間です。授業評価学生委員は、授業、カリキュラムに関する各学年の意見を取りまとめ、年２回、教員で組織される教育改善委員会と合同で開催する委員会（合同委員会）において要望の伝達および意見交換を行います。

大学祭では、授業評価学生委員会のこれまでの活動内容を展示したこともあります。これらの活動を契機に、今後ますます、学科内の授業改善に対する意識を学生・教職員ともに高めていきたいと考えています。

（農業環境工学科　授業評価学生委員会）